

「第1回 関東地方フォーラム イベント」開催 インフラメンテナンス国民会議

■開催概要

1. 概要：社会インフラの維持管理・更新に関する自治体の課題に対し「課題の深掘り」を行いました。
また、インフラメンテナンスに関するベストプラクティスを水平展開するため事例紹介を行いました。

2. 日時：平成30年11月9日（金）15:00～17:15

3. 場所：中央合同庁舎2号館 国土交通省第2会議室A・B

4. 内容：1) 挨拶
2) インフラメンテナンス国民会議について
3) 事例紹介（橋梁モニタリング技術の現場試行状況）
4) ワークショップ
・テーマ：橋梁の点検効率化にむけた課題整理
・3班に分かれてグループ討議を行い、課題の深堀を行った。

5) 講評

5. 参加者：自治体11名

6. 主な意見等

- ・自治体の課題としては、「点検精度の確保」、「跨線橋の点検が困難」、「見えない部位の点検」、「Ⅲ判定のどれを補修すればよいか」

などがあげられた。

- ・意見としては、「点を検手段として適切に実施」など。

- ・解決策として、「新技術を使う」ということも挙げられたが、「新技術を使用するための体制を構築することが重要」との指摘があった。



吉田事業総括調整官の挨拶

【事例紹介技術】

- ①「UAV撮影画像を用いたコンクリートのひび割れ画像解析技術」
- ②「橋梁点検ドットカメラの社会実装」
- ③「加速度センサを用いた橋梁の洗掘量のモニタリング 試行状況について」
- ④無線センサを用いた下部工基礎の洗掘時・地震時のモニタリング
- ⑤橋梁の健全度モニタリングシステム
- ⑥塩害モニタリング技術の事例紹介



事例紹介



ワークショップ



村越教授の講評